



2022年4月25日

各位

株式会社 鳥取銀行

鳥取大学との連携に関する包括協定書の締結について

～ 産学連携に加え、SDGsの取組みと学生のキャリア支援を推進します！ ～

株式会社 鳥取銀行（頭取 平井 耕司）は、産学連携による地域課題の効果的な解決に向けて、国立大学法人鳥取大学（学長 中島 廣光）と連携に関する包括協定書を締結しましたのでお知らせします。

当行では、2004年に鳥取大学と連携協力に関する協定を締結し、産学官金連携を目指して地元企業と大学研究のマッチングに取り組んでまいりました。

新たに締結する包括協定では、産学連携に加え、SDGsの視点から地域課題を幅広くとらえた取組みを行うほか、企業の事業活動を通じた課題解決に関心を持つ学生・学生団体を企業とマッチングすることで、学生が地域の仕事に関わる機会を創出し、将来のキャリア形成を支援することにもつなげてまいります。

当行は今後も、他機関とのパートナーシップによるコンサルティング機能の強化に取り組み、「地域を支え、明るい未来を創造するコンサルティングバンク」を目指してまいります。

記

1. 包括協定書の締結日

2022年4月25日（月）

2. 包括協定書の連携内容

（1）SDGsに関する取組みの推進

大学の研究および学生の活動と地元企業の事業活動を通じ、地域社会の持続的な発展につなげてまいります。



（2）地元企業等との共同研究・受託研究の推進および課題解決支援

地元企業の技術的課題や商品開発に関し、大学に蓄積されている専門知識やノウハウを活用した課題解決支援を行います。

（3）学生のキャリア形成の支援

地域で積極的に活動する学生団体と地元企業をマッチングすることで、企業の課題解決を促進するとともに、学生が地元企業と関わる機会を創出し、“地域で働く”という将来の自身のキャリアについて考えるサポートを行います。

（4）その他、地域社会の発展に資する活動

3. 鳥取大学みらい基金への寄付

上記の連携目的を実現するため、当行では2022年度から5年間にわたり毎年100万円（総額500万円）の寄付を行います。

寄付先	鳥取大学みらい基金
寄付の目的	鳥取大学が行う地域連携事業への支援を目的とし、鳥取大学および当行が保有する知的・人的資源を有機的に連携することによって、地域産業の活性化をはじめ、地域社会の持続的発展に貢献するものとする
寄付の用途	① 鳥取大学の学生等が行う地域連携事業 ② その他、地元経済の発展や活性化を目的に、鳥取大学が産業界と協働で取組む事業

4. 具体的な取組み例

(1) 地域連携による研究への当行の協力

鳥取大学の地域参加型研究プロジェクト「空き家の地域資源化スキームの開発」において、空き家の地域資源化に向けた研究を支援しております。今後は空き家活用の課題抽出やリノベーション活用の分野で協力してまいります。

(2) 当行の保有する金融データの提供

当行が保有する金融データを匿名加工情報として提供し、研究に活用いただきます。提供したデータにより得られた知見については、当行のマーケティング戦略への活用を予定しております。

(3) 地元企業と学生団体のマッチング

建設業界の就職者数減少という課題を受けて情報発信の強化に取り組んでいる大山町建設業協会と、土木業界の魅力発信事業を行う学生団体「ツナガルドボク」とのマッチングを行いました。学生を対象としたアンケート調査やSNS活用の提案などを行っております。

(4) 鳥取大学みらい基金への寄付を通じた学生団体への助成支援

鳥取大学みらい基金への寄付を活用いただき、「鳥取大学 学生 Small CoRE Project」を実施しております。本プロジェクトは、地域創生に向けた学生の主体的な課外活動を応援し、1団体につき最大20万円を助成するものです。



学生団体と建設業協会とのマッチングイベントの様子



「学生 Small CoRE Project」2021 年度発表会の様子

以上

≪本件に関するお問合せ≫
 営業統括部（三木）・経営統括部（須田）
 TEL 0857 (37) 0263・0857 (37) 0260